

【エクアドル経済：2012年6月】

1. 国内経済

(1) 自動車関連への輸入規制

(a)貿易審議会(Comexi)決議第 66 号(6 月 15 日付官報第 725 号)

- ・2012 年の完成車(CBU)輸入量・額は 2010 年輸入実績のマイナス 30%とする。
- ・2012 年 6 月 16 日の船積分より適用、2014 年 12 月 31 日まで実施予定。
- ・2012 年 8 月までに発行された輸入ライセンスは無効となり今次規制を適用。
- ・外交官及び身体障害者向け自動車については規制対象外。

(b)貿易審議会(Comexi)決議第 64-65 号(同月 22 日付官報 730 号)

- ・1900cc 以上の乗用車・SUV(完成車関税は 35%)の組立部品(CKD)は関税最大 35%。
- ・1900cc 未満の乗用車・ピックアップ(完成車関税は 40%)の組立部品(CKD)は関税最大 40%。
- ・組立部品(CKD)の関税は国産化比率に応じて引下げられ、国産化比率 20%を達成すれば 4.38 ~5%の関税となる。

(2) ヤスニ ITT イニシアティブ：ヤスニ保証書授与式

5 日、ヒルトン・コロン・ホテル(グアヤキル)に於いて式典が行われ、ヤスニ ITT 運営交渉委員会は 5 万ドル以上を寄付した 13 の企業・団体に対して、ヤスニ保証書(CGY:Certificados de Garantia Yasuni)を授与した。右保証書は ITT 鉱区を開発した場合に寄付金の返還を保証するものである。

式典ではヤスニ ITT イニシアティブ活動報告も行われ、バキ(Ivonne Baki)ヤスニ ITT 運営交渉委員会委員長は「本年末までのヤスニ・プロジェクトへの拠出金目標額は 2 億 9100 万ドルである。客年 2 月までの段階では 3700 万ドル程の拠出金しか集まっていなかったが、客年末には初期目標額の 1 億ドルを集めることが出来た。そのようなことから本年目標額の達成は可能である」旨述べた。

(3) 政府主催輸出振興商談会の実施

12~13 日、グアヤキルで外国企業向け商談会が開催された。商談会の目的は在外通商事務所を置く 27 ヶ国を中心にエクアドル製品の輸出拡大を図るものである。右 27 ヶ国(独、伯、中、米、加、トルコ、シンガポール、グアテマラ、韓、ペルー、チリ、英、スウェーデン、仏、日本、露、ベネズエラ、墨、西、コロンビア、南アなど)の企業 116 社がエクアドルの企業 353 社とビジネス商談会を実施した。

2. 対外経済

(1) 対イラン関係

8 月 1 日~明年 3 月 15 日、エスメラルダス精油所が改修作業に入り、石油燃料の生産が(一部)停止となることを受けて、13 日、イラン政府高官は、イランからエクアドルへの石油燃料供給について 2013 年に具体化する可能性がある旨語った。

今年 2 月 23 日~3 月 3 日、カルボピニャ(Marco Calvopina)エクアドル石油公社総裁はイラン及びシンガポールを訪問。2 月 25 日にイラン石油省にて Akhbari Shad イラン国営石油精製販売会社(NIORDC)国際局長と会談し覚書を締結している。